

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2025年4月分)

2025年4月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[新国政連立に向けた動き\(2日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●[サラエボ市議会の構成が決定\(23日\)](#)

イ スルプスカ共和国(RS)

●[ドディックRS大統領のロシア訪問\(1日\)](#)

●[ドイツとオーストリアによるドディックRS大統領への制裁\(3日\)](#)

●[ドディック大統領のBH裁判所に対する上訴\(11日\)](#)

●[SNSD等への政党助成金支払い一時停止に係るボン・パワー行使\(24日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[シニルリオール OSCE 事務総長の BH 訪問\(1日\)](#)

●[インターポール\(ICPO\)によるドディックRS大統領等への国際指名手配要請の却下\(2日\)](#)

●[BH上級代表及び和平履行評議会\(PIC\)のスレブレニツァ・メモリアル・センターでの特別会合\(15日\)](#)

(2) 二国間関係

●[BH大統領評議会とエルドアン・トルコ大統領の会談\(12日\)](#)

(3) 日・BH関係

●[スレブレニツァにおけるPIC・SB 特別会合に参加\(15日\)](#)

3. 経済

(1) 経済指標(出典: BH統計局)

(2) 経済政策・公共事業

●[Viaduct ケースに関する動向\(15日～22日\)](#)

(3) 経済協力

(4) 民間セクター

●[モスタルで第26回国際経済フェアの開催\(8日～12日\)](#)

(注: この月報は、当地紙報道などの公開情報をとりまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●新国政連立に向けた動き(2日)

2日、トロイカ(社会民主党(SDP)、人民と正義(NiP)、我々の党(NS)によるボシュニャク系与党連合)、クロアチア民主同盟 BH(HDZ)、RS 野党である、セルビア社会党(SDS)、民主進歩党(PDP)、「正義と秩序のために」(ZPR)の合同会合がサラエボで実施され、SNSDを省いた形での連立創設が議論された。

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●サラエボ市議会の構成が決定(23日)

23日、BH中央選挙管理委員会はサラエボ市議会の間接選挙の結果を確認する決定を採択。結果、28人のうち16人の市議会議員が与党連立トロイカの3政党に属している。

イ スルプスカ共和国(RS)

●ドディックRS大統領のロシア訪問(1日)

1日、ドディックRS大統領は、モスクワを訪問し、ロシアのプーチン大統領と会談した。第2次大戦中に亡くなった2,800万人のロシア兵士を追悼する無名の兵士モニュメントも訪れた。会談後、ドディックRS大統領は、ロシアは国際機関の任務を停止することを支持してくれるだろう、と述べた。

●ドイツとオーストリアによるドディックRS大統領への制裁(3日)

3日、オーストリアのマインル・ライジンガー外務大臣とドイツのリュールマン欧州・気候変動問題担当国務大臣がサラエボで協議を行い、ドディックRS大統領への制裁を発表した。ドイツ外務省は、国家を意図的に弱体化させるRSの指導者たちによるBHの憲法上の一体性への攻撃は容認できず、その反応として他パートナー国と連携し、RSの3人の政治家

に対して入国を妨げる措置を開始すると発信した。

●ドイツ国務大臣のRSからの「強制退去」(4日)

4日、ドイツのリュールマン・欧州・気候問題担当大臣は、バニャ・ルカにおいてRS野党との会談等を実施していたところ、RS当局は同大臣を「ペルソナ・ノン・グラータ(好ましからざる人物)」であると発表し、RS警察が大臣一行に同行し、強制的にエンティティ外に「退去」させた。

●ドディック大統領のBH裁判所に対する上訴(11日)

11日、ドディックRS大統領の弁護団は、上級代表の決定に従わなかったことで有罪判決としたBH裁判所の第1審(有罪判決)に対する上訴を申し立てた。

●ドディックRS大統領の親セルビア政府集会への参加(12日)

12日、ドディックRS大統領(BH 内で指名手配中)は、独自のルートで国境を通過し、ベオグラードを訪問し、親セルビア政府集会に参加した。その翌日にはBHに帰国した。

●SNSD 等への政党助成金支払い一時停止に係るボン・パワー行使(24日)

24日、シュミットBH上級代表はボン・パワーを行使し、セルビア系最大政党・独立社会民主主義者同盟(SNSD、ドディックRS大統領が党首)及びRSの連立与党・統一スルプスカ(US、ステバンディッチRS国民議会議長が党首)に対する政党助成金支払いを一時停止する決定を行った。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●シニルリオール OSCE 事務総長の BH 訪問(1日)

1日、シニルリオール OSCE 事務総長は、BH を訪問し、コムシッチ大統領評議会クロアチア系メンバー及びベチロビッチ大統領評議会ボシュニャク系メンバーと会談した。シニルリオール OSCE 事務総長は、BH の危機的状況に懸念を示し、BH 憲法秩序、平和及び安定性は維持されなければならないと強調した。

●インターポール(ICPO)によるドディックRS 大統領等への国際指名手配要請の却下(2日)

2日、インターポール(ICPO)事務局は、BH 裁判所のドディックRS 大統領及びステバンディッチRS 国民議会議長への国際指名手配要請を却下した。

●カッラスEU外務・安全保障政策上級代表のBH訪問(8日)

8日、カッラスEU外務・安全保障政策上級代表はBHを訪問し、大統領評議会の3メンバーとの会談及びEUFOR基地での演説を実施した。会談及び演説の中で、カッラスEU外務・安全保障政策上級代表は、RS指導部は憲法と法秩序を脅かし、国民の基本的自由を脅かしていると指摘した。

●BH、トルコ、クロアチア三国間の外務大臣会談(12日)

12日、コナコビッチBH外務大臣は、トルコで開催されているアンタルヤ外交フォーラムを訪れ、フィダン・トルコ外務大臣及びラドマン・クロアチア外務大臣と三国間外相会談を実施した。コナコビッチBH外務大臣は、トルコ、クロアチア両国によるBH主権の安定性、領土の一体性へに対する支援に謝意を示し、相互

的な経済協力及びインフラに関するプロジェクトに関する三国間の政治的対話を続けていくことを強調した。

●和平履行評議会(PIC)のスレブレニツァ・メモリアル・センターでの特別会合(15日)

15日、スレブレニツァ・メモリアル・センターにて、シュミットBH上級代表議長の下、和平履行評議会運営委員会(PIC・SB)の代表メンバーによるPIC・SB特別会合が行われた(バルブ EUFOR 司令官等も参加)。PIC・SBの会合としては、初めてサラエボの外で開催され、政治危機の渦中にあるRS内のスレブレニツァに集い、スレブレニツァにおいて被害に遭われた方々を追悼した。

●BH大統領評議会メンバーとシェケリンスカ NATO事務次長の会談(15日)

15日、BH大統領評議会 3 メンバーは、ブリュッセルのNATO本部を訪問し、シェケリンスカNATO事務次長と会談した。会談の中で、シェケリンスカNATO事務次長は、昨今の展開と国の憲法秩序と機能性とは逆行する示唆に対して引き続き懸念しており、改めて欧州・大西洋への道のりにはBHへのNATOによる支援がその基盤を構築する上で重要であると述べた。

(2) 二国間関係

●ハダッド仏欧州担当大臣のBH訪問(4～5日)

4日から5日かけて、ハダッド仏欧州問題担当大臣はBHを訪問し、ベチロビッチ大統領評議会ボシュニャク系メンバー及びコナコビッチ外務大臣との会談を実施した。会談後、初のフランス開発庁(AFD)BH事務所の開設に関する協定が署名された。

●BH大統領評議会とエルドアン・トルコ大統領の会談(12日)

12日、第4回アンタルヤ外交フォーラムへの出席に合わせ、BH 大統領評議会のツビヤノビッチ議長(セルビア系メンバー)、ベチロビッチ・ボシュニャク系メンバー、コムシッチ・クロアチア系メンバーはトルコを訪問し、エルドアン大統領と会談した。

(3)日・BH関係

●スレブレニツァにおける PIC・SB 特別会合への参加(15日)

15日、相木大使は、スレブレニツァ・メモリアル・センターにおいて開催された和平履行評議会運営委員会(PIC・SB)拡大会合に参加した。



(写真:献花及び所長との懇談の様子)

3. 経済

(1)経済指標(出典: BH統計局)

●産業生産指数

2025年3月の産業生産指数は、季節調整後数値で前月比1.3%マイナス。前年同月比0.6%マイナス。

●雇用／失業率

2025年3月の失業者登録数は32万4,233人(うち女性19万1,987人)で、前月比では変わらず、前年同月比で3.3%マイナス。

●平均給与

2025年3月の平均給与(手取り)は1,534 KMで、前月比で名目賃金は1.8%プラス、実質賃金は1.8%プラス。前年同月比で名目賃金は13.4%プラス、実質賃金は9.9%プラス。

●消費者物価指数

2025年3月の消費者物価指数は前月比変わらず。前年同月比で平均3.2%プラス。食料品・ノンアルコール飲料の価格は前月比0.6%プラス。

●貿易収支

2025年3月のBHからの輸出総額は41.16億KM(前年同期比6.8%増)、BHへの輸入総額は71.84億KM(前年同期比5.5%増)。貿易収支は30.68億KMの赤字。

(2)経済政策・公共事業

●Viaduct ケースに関する動向(15日～22日)

15日、BH閣僚評議会は22日までに Viaduct ケースにおける国際投資紛争解決センター(ICSID)法廷の仲裁裁定執行のための1億1000万KMを盛り込んだ2025年度予算案を緊急に修正し提出するよう指示した。この措置は、BHに対する財政的損害を回避し、BHに対する判決を執行し、RSへの損害賠償請求権を可能にすることを目的としてい

る。

22日、BH閣僚評議会は、独立社会民主同盟(SNSD)のアミジッチBH財務大臣の提案を採択した。同提案では、BH中央銀行の利益から1億1,600万KMの債務をスロベニア企業 Viaduct へ支払い、そのうち9,000万KMにあたる債務負担をそれぞれのエンティティに分割し、BH連邦に5,900万KM、スルプスカ共和国(RS)に2,900万KMを割り当てられる内容となっているため、BH大統領評議会及びBH議会での支持が得られるかの見通しは立っていない。

(3)民間セクター

●モスタルで第26回国際経済フェアの開催 (8日～12日)

8日から12日にかけて、モスタルにて第26回国際経済フェアが開催された。同フェアには、30カ国からおよそ800の展示が集まった。今回のパートナー国はイタリアで、農産物や食品、工業設備、文化遺産等を展示している。BイタリアはBHの最大の輸入先であり、貿易額は約50億KM(約25億5,000万ユーロ)に達している。BHにとっては、地域経済の発展に向けたビジネスネットワーキング、知識交換、投資促進、パートナーシップ構築のプラットフォームとして重要な役割を果たすことが期待されている。